

(件名) クルーズ船来港の本格化に向けて国際観光都市を創出する件

(陳情の趣旨)

当会は去る2月に「錦江湾活性化とドルフィンポート跡地の活用方に関する陳情書」を提出させて戴きました。

その後、県民交流センター中ホールで毎月一回、上記をテーマに県民の集いを開いてきました。それを踏まえまして、この度、「鹿児島を新しい国際観光都市に躍進させるため、鹿児島パワーを結集しよう」という提案書をまとめました。

せっかくマリンポートが完成して、世界最大級のクルーズ船が寄港する態勢が整っているのに、その乗客を迎える態勢はまったく整っていない現実を無視していいのでしょうか。

鹿児島の観光地は50年前、100年前と同じ状態で、世界的なクルーズ船の乗客は観光する場がなく、鹿児島に失望しているという実情があります。

そこでコロナ禍で休眠状態にある今こそ、新しい時代に向けた国際観光都市の建設を進めるべきであります。それも県が巨額を投資するのではなく、幅ひろい民間を起用し、中央の進出企業が儲かるのではなくて県民が儲けるシステムをつくりだす必要があります。

マリンポートに県が投資した巨額の資金は、県民が儲かるシステムを構築することで回収できると信じます。

マリンポートが建設されたことで、鹿児島が国際観光都市に躍進できるチャンスが生まれました。このチャンスを失っていいのでしょうか。

以上の趣旨を基に、以下の陳情をいたします。

記

1. 本港区エリアを新しい時代に即応する国際観光街区とするため、県内の幅広く多彩な産物を販売し、展示PRする拠点として下さるよう検討して下さい。
2. このような提案をできる場を県政に設けて戴きたい。

以上